

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 12 月 28 日 (2017.12.28)

【公表番号】特表 2016-501847 (P2016-501847A)

【公表日】平成 28 年 1 月 21 日 (2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報 2016-005

【出願番号】特願 2015-541174 (P2015-541174)

【国際特許分類】

A 0 1 N 53/08 (2006.01)

A 0 1 P 7/02 (2006.01)

A 0 1 N 57/16 (2006.01)

A 0 1 N 25/00 (2006.01)

A 0 1 N 25/10 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 53/00 5 0 8 D

A 0 1 P 7/02

A 0 1 N 57/16 1 0 1 Z

A 0 1 N 25/00 1 0 2

A 0 1 N 25/10

A 0 1 M 1/20 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 11 月 20 日 (2017.11.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フルメトリンである殺ダニ活性物質を 0.1 ないし 5 重量%

脂肪族の枝分かれしていない C_8 C_{12} 脂肪酸を含むグリセロールエステルまたはプロピレングリコールエステルを 5 ないし 25 重量%

および任意選択的にさらなるアジュバントおよび添加物を含むポリ塩化ビニルマトリックスに基づく固形成形品であって、該成形品が 1 から 5 mm の厚さを有しかつ 6 ~ 9 mm の直径を有する開口部を含む前記の固形成形品。

【請求項 2】

前記グリセロールエステルまたはプロピレングリコールエステルの濃度が固形成形品の全重量に基づき 7 ~ 25 重量%である、請求項 1 に記載の固形成形品。

【請求項 3】

4 ~ 45 重量%の追加の可塑剤を含む、請求項 1 又は 2 に記載の固形成形品。

【請求項 4】

10 ~ 40 重量%の追加の可塑剤を含む、請求項 3 に記載の固形成形品。

【請求項 5】

前記追加の可塑剤がアジピン酸エステルである、請求項 3 又は 4 に記載の固形成形品。

【請求項 6】

前記追加の可塑剤がアジピン酸ジ n ブチルである、請求項 5 に記載の固形成形品。

【請求項 7】

ジカプリル酸 / ジカプリン酸プロピレングリコールを含む、請求項 1 ~ 6 の一項に記載の固形成形品。

【請求項 8】

10 ないし 100 の開口部を含む、請求項 1 ~ 7 の一項に記載の固形成形品。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 の一項に記載の固形成形品を含む養蜂箱。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

本発明の固形成形品は、通常 0.5 から 20 mm、好ましくは 0.5 ないし 10 mm、特に好ましくは 1 ないし 5 mm、非常に特別に好ましくは 1 ないし 3 mm の物質厚さを有する。